

図書館だより

開館時間(共通) 9時～17時30分

☎ 中央図書館 ☎ 0558-76-5566

☎ 葦山図書館 ☎ 055-949-8605

URL <http://www.izunokuni.library-town.com/>



今月のおすすめ

一般

【中央】
【葦山】



教誨
袖月裕子／著
小学館

幼女二人を殺めた女性死刑囚、最期の言葉「約束は守ったよ、褒めて」。身元引受人の香純は、言葉の真意を探り始める。事実と真実が反転する慟哭の社会派ミステリー。

一般

【中央】
【葦山】



黒石 一新宿鮫XII
大沢在昌／著
光文社

地下ネットワーク「金石」の覇権争いから、正体不明の幹部・徐福と、殺人者「黒石」の秘匿されてきた戦慄の犯罪が浮かび上がる。新宿署・鮫島刑事が必死の捜査で挑む。

一般

【中央】



貸本屋おせん
高瀬乃一／著
文藝春秋

文化期の浅草。天涯孤独のおせんは、今日も高荷を背負って江戸中を歩く。板木泥棒、幽霊騒ぎ、幻の書物探し。事件に遭っても本を届ける。オール読物新人賞受賞作。

一般

【葦山】



グッドナイト
折原一／著
光文社

アパート「メゾン・ソレイユ」に入居しているのは、眠りに問題を抱える人ばかり。ぐっすり眠れるなら死んでも構わない!? 騙りの名手による連作短篇集。

新着本コーナーから

- 一般 息をつめて 桂望実／著 【中央・葦山】
- 一般 生きる意味 姜尚中／著 【中央】
- 一般 旅行靴のガラクタ 伊集院静／著 【葦山】
- 一般 世界の魅力的な道 178 選 地球の歩き方編集部／編 【葦山】
- 一般 3歳語辞典 101／著 【中央】
- 児童 昆虫変態図鑑—生きかたイロイロ!— 川邊透／著 【中央】
- 児童 ひ・る・ご・は・ん! 武田美穂／作 【葦山】

2月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

○ 中央休館日 □ 葦山休館日
◇ 両館休館日 ☆ おはなし会

2月のおはなし会

中央図書館 11日(土・祝) 11時～
葦山図書館 11日(土・祝) 11時～
25日(土) 11時～
※事前申し込み不要

くぬぎ会館こども広場
16日(木) 10時10分～
※予約制 ☎ 0558-76-1346

お知らせ

本の修理について(お願い)

図書館の本は、汚れたり、破いたりしないよう、大切にしてください。万が一誤って破いてしまった時や、破れているページを見つけた時は、自分で修理せず、返却の際に図書館職員にお知らせください。修理の仕方によっては変色や変形により使えなくなってしまう場合もあります。

図書館職員は、専用の補修テープや道具を使い、少しでも元の状態に近づけるよう工夫して修理をしています。利用者の皆さんのご協力をお願いします。

文化財通信

その212

文化財課って何をしているところ?

お仕事紹介 その2

☎ 文化財課 ☎ 055-948-1428



▲郷土資料館展示室



▲特別収蔵庫



▲ワークショップの様子



伊豆の国市郷土資料館

開館時間/9時～16時30分
休館日/月曜日・毎月最後の金曜日、年末年始など
(図書館休館日に準じる)
ところ/中央図書館2階(三福 253-1)
入館料/無料
☎ 0558-76-5678

文化財課のお仕事紹介、第2回は伊豆の国市郷土資料館です。伊豆の国市郷土資料館は、中央図書館の2階にあります。普段は展示室や収蔵庫の管理、企画展やワークショップの開催、収蔵品の調査・研究などを行っています。

資料館では多くの古文書、民具を収蔵していますが、これらのほとんどは市民からの寄贈・寄託品です。古文書は江戸時代の年貢に関するものから水論(農業用水の使用権を争うこと)関係の訴状、手紙までさまざまなものがあります。民具は田下駄や鍬、唐箕などの農業関係から、足踏みミシンや煙管、氷冷蔵庫などの日用品、また東洋醸造(株)より寄贈を受けた酒造道具などがあります。

収蔵庫があり、国指定重要有形民俗文化財である「山木遺跡出土の生産・生活用具」を適切な温湿度管理のもと保管しています。

教育の面では、火起こし体験教室をはじめとしたワークショップや、出張授業などを行っています。小学生を対象に開催する火起こし体験教室は、市内だけでなく伊豆市、函南町、沼津市、三島市などの近隣市町からも体験依頼がある人気のプログラムです。最初の開催から今年で30年を迎え、現在は有志団体「火起こし隊」の指導のもと、小学生たちには火の起こし方、扱い方を伝え続けています。

さらに、年数回行われる企画展で

は、伊豆の国市に関連した展示を行っています。今年度は大河ドラマが話題となったため、鎌倉時代の伊豆の国市を取り上げる機会が多くありました。企画展では、普段展示することがない文化財を取り上げる機会が多いので、貴重な文化財が見られるチャンスです。今まで来館したことのある人も、初めての人も、ぜひ郷土資料館にお越しください。